

(社)日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 22 回 余裕深度処分安全評価分科会 (F12SC) 議事録

1. 日時 2007 年 12 月 18 日 (火) 13:30~17:00
2. 場所 日本原燃(株)東京事務所 6 階 第一会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 川上 (主査), 新堀 (副主査), 山本 (幹事), 石黒, 浦上, 小野, 加藤,
河田, 河西, 木村, 関口, 中居, 樋口, 宮原 (14 名)
(欠席委員) 石田, 小峯, 西村 (3 名)
(常時参加者) 飯村, 大間, 邊見, 佐久間, 前田, 高瀬 (6 名)
(欠席常時参加者) 大音, 片岡, 田村 (3 名)
(事務局) 岡村

4. 配付資料

配付資料

- F12SC22-1 第 21 回余裕深度処分安全評価分科会議事録(案)
- F12SC22-2 標準委員会の活動状況
- F12SC22-3-1 学会標準(本体)(案)の構成及び論点
- F12SC22-3-2 学会標準(案)

参考資料

- F12SC22-参考 1 標準委員会及び専門部会 中間報告 (説明資料・議事録抜粋)
- F12SC22-参考 2 余裕深度処分安全評価分科会 コメント処理表
- F12SC22-参考 3 今後の審議工程 (案)

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より、17名の委員中14名の出席があり、決議に必要な委員数(12名以上)を満足している旨の報告があった。

(2) 前回議事録の確認

前回議事録について、事務局より事前に配布したものからの変更が無い旨説明があり、承認された。(F12SC22-1)

(3) 人事について

事務局より、高瀬氏(三菱マテリアル)より常時参加者登録の希望がある旨紹介し、承認された。

(4) 標準委員会の活動状況

F12SC22-2に基づき、事務局より標準委員会並びに専門部会の活動状況について報告された。

(5) 標準委員会・専門部会での中間報告の結果報告

F12SC22-参考1に基づき、山本幹事より標準委員会・専門部会での中間報告の結果について報告された。

(6) 標準原案の検討審議(F12SC22-3-1~2)

F12SC22-3-1~2に基づき、標準原案のうち1章~5章及び7章が中居委員、6章が高瀬常時参加者によって説明された。

主な議論、コメント等は以下の通り。

(1~4章)

- ・ 標準委員会で適用範囲の記載が、「・・・を規定する。」というのをおかしいとのコメントがあり、対応について検討要。
- ・ (余裕深度処分における)長期をどこまで考えるのか。土木学会でも議論しており、今のところ数万年程度で考えている。本標準ではどうするのか。
→ 原子力安全委員会では現状は時間軸を扱わない方向であるため、今のところ、この標準では明確には書かない予定。
- ・ 時間軸については、原子力安全委員会の議論の結果を受けて記載を考えることとする。
- ・ 附属書1表4の説明をもう少し分かり易く書く手もある。
- ・ 表2と表4で変動状態の記載を合わせること。

(5章)

- ・ 井戸水は飲用とするか利用とするか迷っているが、飲用で統一したいがどうか。
→ 井戸水のように少量の場合は、飲用が保守的だろう。
→ 飲用と記載することを解説で書けないか。

→ 解説で書く。

- ・ 本体と解説で被ばく経路の記載内容が違っている。

→ 修正する。

(6章)

- ・ 解説にガスの影響を追加したが、内容が断定的過ぎるのでは。必ず影響があるように見える。

→ 影響があるとなると解決策をすぐに提示するのは難しい。ただし、書き方は修正する必要があると思うが、このような懸念があることを書くことは有意義。

→ 断定的ではなく、こういうことも考えられるとしてはどうか。

- ・ ラドン等の気体の放射性物質は考慮するのか。

→ 発電炉の廃棄物ではほとんど問題とならないのではないか。

(7章)

- ・ 計算コードQAD-CG-GP2はQAD-CGGP2ではないか。

- ・ 標準委員会で、解説の163ページに”a “とあるのは”面積のルール “の意味で使用されているが、他の箇所では”年 “の意味で使用されている。とのコメントがあった。

- ・ コメ、野菜、飼料等を農作物でまとめているが、畜産物が細かく分類されているのとは合わないのではないか。

→ 家畜の場合は体の大きさで移行係数が大きく変わるためまとめられない。

- ・ 外部換算係数には、幾何学的な条件が必要ではないか。

→ 確認する。

- ・ 表7.3.1の流量の記載は、境目が明確過ぎる。～程度といった記載にしてはどうか。

- ・ 記号、パラメータ名、標準的な値と並べてあるが、変数とパラメータが同じ表に入っている。変数は個別の計算によるものであり、標準的な値は当然無い。変数とパラメータは表を分けた方が良い。

- ・ 表7.3.1は、表の意味が分からない。

→ 表7.3.1が出て来た流れが省略されている。

→ 規模と可能性となっている部分は、実際は被ばく経路の分類。

(7) コメント処理表について (F12SC21-参考-2-1～2)

F12SC22-参考-2に基づき、前田常時参加者よりコメント処理表について説明が行われ、特にコメント等は無かった。

6. 今後の予定

次回分科会日時は1/24 (木) 13:30～、場所は日本原燃東京事務所の予定。

以 上